

特別活動（ホームルーム）指導案

令和4年10月20日（水曜日）第3・4校時 電気科2年（電気計測実習室） 指導者 石川 誠一

1 題材 「私はこうする！～行動目標を立てよう～」

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）第5章特別活動 第2各活動・学校行事の目標及び内容〔ホームルーム活動〕2内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現の「主体的な進路の選択決定と将来設計」によるものである。また、高等学校キャリア教育の手引き（文部科学省）において、キャリア教育で育成すべき力の一つである「キャリアプランニング能力」の醸成に注力したものである。

実践協力校は「自ら考え判断し、産業社会で意欲的に活動する、誠実で思いやりのある人材の育成」を教育目標とし、工場見学や上級学校調べ、就業体験等の社会参加を通して、産業社会を支える技術者の育成を推進している。さらに、全職員による組織的・継続的な指導により、生徒が自己の進路を適切に選択できる能力・態度を育てている。

対象の電気科2年生（40名）は卒業後の進路について、およそ4割が就職、3割が進学を希望している。1年次より進路講話や社会人講師による授業など、キャリア教育の時間を計画的に実施してきたが、進路決定を1年後に控えた今もなお、自分の進路に対して不透明な面があり、向かうべき将来と現在の自分を結び付けられていない生徒が多い現状がある。また、社会人として求められる資質・能力や役割、期待される人物像に近付くために、具体的な課題や目標を掲げて生活している生徒は多くはない。

このことから、実社会で必要とされる資質・能力、果たすべき役割や態度、求められる人物像を探ることのできる自分と将来あるべき理想の自分とのギャップを理解する。そして、今後の生活の中で進路実現するための手段や取組を主体的に設定し、実践するための行動目標を立てることにより、生徒の可能性を広げ、自身と社会とのつながりを認識できると考え、本題材を設定した。

3 研修との関わり

研修先である株式会社ヤマト（以下「ヤマト」）は、お客様から信頼される企業人を育成することはもとより、建設業界の専門家としてヤマトの将来を担う社員と新たなニーズに対応できる技術者の育成のため、大卒者、高卒者とも1～2年間の講義及び実習の専門教育を実施し、きめ細かな社内教育に力を注いでいる。

配属先の人事部では採用に関わる業務から企業が求める人材像を探り、環境事業部では水処理に関わる施工管理の業務から、授業との関連性や社会インフラの維持、管理に携わる働きがい学ぶことができた。また、新入社員と共に研修を受講しヤマトの教育スキームに触れた。その中で、経歴や配属に関係なくヤマトの一員として欠かせない知識や技術を惜しみなく授け、それに応えようとする社員の姿を目にした。さらに、長所を生かした、よりよい配属を考えることで、配属後も学びを継続し各部署での役割を果たそうと懸命に努力を続ける社員の気概や誇り、熱意を感じた。本題材では、研修から学んだ企業が求める人物像や資質・能力、それに近付くための見通しを立て、生徒自ら行動目標を宣言することにより、今後の高校生活をより充実させ「始動人」として一步を踏み出すための足がかりとしたい。

4 指導方針

- (1) 社会人として求められる資質・能力について、対話的な活動から他者の意見に触れることで自己の新たな一面に気付かせる。
- (2) 学校と実社会との関わりや求められる役割、態度を知ることで、目的をもって生活することの意義を理解し、主体的に課題設定をする取組から「始動人」として踏み出す第一歩となるよう配慮する。

5 評価規準

(1) 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現

- ・ 他者の意見に耳を傾け、自己の新たな一面を見いだそうとしている。
- ・ 社会人として求められる人物像について理解し、将来のキャリアについて関心を深め、理想の姿に近付くための主体的な活動や行動目標を考えようとしている。

6 指導と評価の計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

時間	●ねらい ○学習活動 [☆] : ICT活用	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
事前の活動				
本時の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●社会人として求められる人物像について理解する。 ●理想の自分に近付くための主体的な活動や行動目標を考える。 ○ワークシートに記入する。 ○デジタルホワイトボードによるグループワーク [☆] 		求められる人物像や理想の姿を見据え、他者評価により見いだした新たな自己の一面から行動目標を考えようとしている。	
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ●自分自身で決めた事を生活の中で実践する。 ○ワークシートに記入する。 		行動目標を振り返りながら、理想の自分に近付くための活動を実践している。	

7 本時の展開

(1) ねらい

社会人として求められる人物像と現在の自分とのギャップを知り、進路実現をするための主体的な活動や行動目標を考える。

(2) 準備

【教員】：プレゼンテーション資料、ワークシート、パソコン、プロジェクタ、ストップウォッチ

【生徒】：筆記用具、1人1台端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・ 予想される生徒の意識 [☆] : ICT活用	○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価 (太字はキャリア教育との関わり)
25分	<p><導入></p> <p>1 研修先の紹介を受ける。</p> <p>○受入企業の紹介、研修内容や社内の雰囲気について聞く。</p> <p>○社会の取り組むべき課題や方向性について聞く。</p>	○SDGsや多様性の受容など企業のみならず、全ての人にとって必要な社会通念について理解させる。

	<p>2 会社の組織を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○RPGゲームのパーティ編成から、バランスのよい編成の重要性を考える。 <p>ー予想される生徒の反応ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社はたくさんの部署で構成されているな。 ・学校とは違う部分があるな。 ・お互いの弱点を補完しながら、組織として働いているのか。 <p>3 インタラクティブプレゼンテーションソフトを利用して「社会人に必要なこと(もの)」を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単独作業により自分の考えを整理するとともに、画面共有により他者の考えも理解する。[☆] <p>4 本時のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○会社の組織表が細かい理由と長所を生かすこととの関連を理解させる。 ●RPGゲームが想像できない生徒については、想像しやすい例示をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○社会人とはどのような存在なのかを考えさせる。 ●入力が滞っている、アイデアが出ない生徒については協働作業に切り替えたり、追加スライドによりイメージを膨らませたりすることで、自分の意見を出しやすくする。
<p>[本時の学習課題] (めあて) 社会人として求められる人物像を理解し、理想の姿に近付くための主体的な活動や行動目標を考える。</p>		
70分	<p><展開></p> <p>5 与えられた職種について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三つの職種、「社長」「営業」「技術」について、必要な資質・能力や性格などを考える。 ○それぞれの職種について、代表的な仕事、やるべきことを理解する。 <p style="text-align: center;">～休憩(10分)～</p> <p>6 個々の考えを整理しグループ内で共有、合意形成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三つの職種に対して電気科の先生方の中から適任者を選出し、その理由について合意形成をする。 ○グループでの人選結果をデジタルホワイトボードに入力し共有する。[☆] ○いくつかのグループを参考に、どのような意見や話し合いがあったかを発表し、新たな考え方に触れる。[☆] 	<ul style="list-style-type: none"> ○自由な発想を推奨し、文章化しなくてもよいので、より多くの考え(キーワード)を出させる。 ●単独作業になることから、机間支援を丁寧に行い、声掛けをする。 ○休憩後の取組について、説明しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ○他者の意見を否定せず、様々な意見や自由な発想を奨励する。 ○求められる人物像を人間的な見地から探る。 ○他者の参考になる意見については、色ペンで追記をさせ一目で分かるようにしておく。 ●机間支援を行い、作業に参加できない生徒がいらないか留意する。 ●1人1台端末による調べ学習などから、グループ内で合意形成の根拠となる記述ができるようにする。 ○意見の正誤が重要ではなく、多様な意見や考え方を認める必要性に気付かせる。

	<p>7 「理想の姿」や「社会人として求められる人物像」と現在の自分とのギャップを把握するため自己分析をする。</p> <p>○これまでの取組から、社会人として求められる人物像を確認する。</p> <p>○自己評価と他者評価から、自分のよさと課題を認識する。</p> <p>ー予想される生徒の反応ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職種ごとに必要な能力があるな。 ・自分だったら、どの職種に適任だろうか。 <p>8 行動目標を立て、宣言する。</p> <p>○今後の生活で、何をどこまで高めるか考える。</p> <p>○行動目標をインタラクティブプレゼンテーションソフトにより、他者に向けて宣言する。[☆]</p> <p>○行動目標を共有することで、他者の考え方に触れる。[☆]</p> <p>ー予想される生徒の反応ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中でも、意識すれば高められることがありそうだ。 <p>9 社員のメッセージから社会人として必要なことを再確認する。</p> <p>○メッセージから読み取れる資質・能力、役割について確認する。</p>	<p>○配属を考える立場として、どのような資質・能力を求めているのかを振り返り、理想の姿を深掘りさせる。</p> <p>○「よい所探し」により、自分のよさを再認識させる。</p> <p>◇自己評価及び他者評価から、自己の新たな一面を見いだしている。(ワークシート)</p> <p>○実現可能かつ具体的な内容を行動目標へ反映させる。</p> <p>◇社会人として求められる人物像や理想の姿から、よりよい自分になるための行動目標や活動を考えている。(ワークシート)</p> <p>社会人として必要な資質・能力を理解し、自分のよさや今後の学校生活での役割や課題を、行動目標の立案を通して主体的に判断する。(キャリアプランニング能力)</p> <p>○現実の企業から求められる人物像や性格、資格などの情報に触れる。</p> <p>○特定の職種に就くためには、進学の必要性や学部学科の選択も重要になることを伝える。</p>
5分	<p><まとめ></p> <p>10 企業と学校の特徴について、研修から学んだことを聞く。</p> <p>○企業と学校のそれぞれがもつ特徴を理解する。</p> <p>11 行動目標を常に意識して生活することの大切さを理解する。</p> <p>○日常生活の中に、自分自身を高められるヒントが存在することに気付く。</p>	<p>○自分も持っているよさや長所に自ら気づき、伸ばしていくことは、キャリアを重ねていく上で大切なマインドであることを伝える。</p> <p>○内定や合格を手にするためには、よさを伸ばすだけでなく課題も克服し、人間的な総合力を高める努力が必要なことを理解させる。</p> <p>○自分が見えていないよさや短所も長所に成り得ることに気付かせる。</p> <p>○今の自分に満足せず、よりよい自分を目指すことによって、更に可能性が広がることを意識させる。</p>

※資料添付

- ・ワークシート